

鳴子米プロジェクト 道の駅「おおさと」研修

岩瀬地方町村議会議員協議会



鳴子の米プロジェクトを研修する岩瀬地方町村議会議員協議会

平成23年11月24日(木)から25日(金)まで岩瀬地方町村議会議員協議会(渡辺定己会長)の視察研修会が行われ、宮城県大崎市(旧鳴子町が合併)の「鳴子米プロジェクト」と大郷町の道の駅「おおさと」で参加議員らが調査研修を行いました。

鳴子温泉で知られる鳴子米プロジェクトの調査研修では、代表の上野健夫氏から近年の農業政策に対する危機感と組織立ち上げに至る経過として、NPO法人鳴子米プロジェクトの事業内容や成果等の説明があり、議員からは「米の作り手と食べる人がつながる」システムづくりや、一俵1万8千円販売価格等に質問が集中しました。

道の駅「おおさと」では、地域振興公社として運営されている6事業について、代表

取締役の鹿野興司氏から道の駅をはじめ、宿泊施設やバス事業そして環境事業等についての説明があり、民間会社出身の鹿野駅長の手腕に質問が飛び交いました。

震災で新たな客層

道の駅「おおさと」も東日本震災で被災。旅行者は激減した。その一方、震災直後から地域住民のために商品供給を開始した。その結果、客層が変動し、旅行者に代わって地域住民を中心に新たなリピーターを獲得。売上減少を免れた。ということである。



震災から復興した道の駅「おおさと」

常任委員会合同研修

平成23年度常任委員会所管事務調査は総務文教・産業厚生との合同で、国会議員要望活動と併せて平成23年12月15日(木)から16日(金)に行いました。

15日は県内選出の国会議員7名への要望活動を行い、被災施設の早期復旧等を要望。16日には埼玉県宮代町において、健康福祉に関する調査を実施。同町の公設宮代福祉医療センター「六花(りっか)」を視察。診療所、老人保健施設等六つの機能を持つ施設の事業内容等を研修しました。



埼玉県宮代町で常任委員会合同研修

編集後記

東日本震災から1年経とうという時期を迎え、連日繰返される原発事故関連のニュース。政府の終結宣言の真実味が問われる昨今です。

町議会では一日も早い復興のために通常の定例議会の他に、災害復旧工事に関する予算について臨時議会を開催し、総額70億を超える予算を議決しました。今後、これらの予算がスムーズに執行されるよう行政を注視したいと考えています。

春はもうすぐです。町民の皆様にはインフルエンザ等には十分ご注意ください。

発行責任者 議長 渡辺 定己

- 広報編集委員会
- 委員長 円谷 寛
 - 副委員長 菊地 洋
 - 委員 長田 守弘
 - 委員 井土川好高
 - 委員 大河原正雄
 - 委員 木原 秀男



復興支援・原発事故対応など 玄葉大臣ら7人の 県選出国会議員へ要望

要望内容を説明した後、外務省接見室にて撮影
接見室は大臣が外国からの来賓を迎える部屋

かがみい 議会だより

No.143
平成24年2月
発行 福島県議会
編集 議会広報編集委員会
〒965-0011 福島県福島市
電話0248(62)2110
不斉3545
印刷 朝日新聞社